

平成 3 0 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	7 2	学校名	茨城県立岩瀬高等学校				課程	全日制			学校長名	柏 正則				
教 頭 名	飯島 利通				上形 勤							事務室長名	木戸 浩明			
教職員数	教諭	41	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	49	実習教諭, 実習講師, 実習助手	4	事務職員	3	技術職員等	4	計	108
生 徒 数	小学科	1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合 計 ク ラ ス 数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普 通 科	36	68	51	93	42	90			129	251	1 1				
	衛生看護科	2	38	4	36	0	31			6	105	3				
	専 攻 科	3	37	1	25					4	62	2				

2 目指す学校像

○校訓「自分の中の力を伸ばせ」のもと、自らの可能性を信じて努力する生徒を育てる学校
○社会人として求められる「確かな学力」・「基本的生活習慣」・「豊かな人間性」を身に付けた人材の育成に努める学校
○看護に関する高い知識と技術及び豊かな情操と教養を身に付けた看護職者を育成する学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学 習 指 導	学校の授業が大切であると考える生徒は多数いるが、家庭学習が習慣化されていない。生徒が自身の学習活動を振り返って粘り強く継続する授業など、優れた授業実践も行われている。 「朝の読書」を実施することで、読書の習慣が身についてきている。また、朝から落ち着いて学習に入ることができている。	学習指導方法を工夫・改善して分かる授業を展開することにより、「学ぶこと」への興味・関心・意欲を高め、基礎学力の定着を図るとともに、「主体的な学び」を実現する。 教員間で、相互に授業参観・授業研究することなどにより、個々の優れた授業実践を共有しつつ「対話的で深い学び」の実現を目指す。

進路指導	進路希望が大学・短大・専門学校、就職と多岐にわたる。目標設定が苦手な生徒がおり、授業、インターンシップ、学校行事等で学んだことや経験がキャリア形成に生かせないのが現状である。	望ましい勤労観・職業観を養い、学んだことを自己のキャリア形成に結びつけられるよう進路意識を高める指導を学校全体で実践する。併せて、個に応じた指導の充実を図る。
生徒指導	全体的に落ち着いているが、基本的生活習慣の身に付いていない生徒、頭髪服装や公共マナー等に対する意識の不十分な生徒が一部に見られる。「朝の読書」の時間の定着により、遅刻者が少なくなっている。	社会人として必要とされる基本的生活習慣等の定着を図る。生徒同士の話し合いや地域の人との対話等を通じ規範意識を高揚させ、自己肯定感を高められる指導を推進する。
特別活動	学校行事には参加するが、自発的・積極的な活動がやや少ない。また、部活動への加入率も低い。生徒会の主体的活動がやや低調な状況がある。	生徒の自発的な活動を促し、学校行事への参加意欲を高めるとともに、部活動への積極的参加を促す。主体性を踏まえた生徒会活動や学校行事の展開により自己有用感を高める。
衛生看護科	多くの生徒が看護職に向けて熱心に取り組んでおり、目標に向かって真摯に努力する姿勢が見られる。平成 29 年度の看護師国家試験では目標である合格率 100% を達成することだできた。ほぼ全員が医療機関に入職し、本県医療の担い手として貢献している。 一方で病院実習等を経験し、入学以前に抱いていた看護師観との相違に、戸惑う生徒もいる。臨地実習の前後で進路変更を希望する学生が一部に見られた。	看護師としての職業観・使命感を醸成し、看護職への意欲を高める。看護師国家試験全員合格を目指し、教科指導・国家試験対策の一層の充実と指導スキルの共有化を図る。 また、病院実習等において個に応じた実習指導の充実を図る。高い専門性と人間性を備えた看護職者を育てるという視点で、社会人としてのマナーを身に付けさせるなどバランスのとれた指導を図る。「看護科における学び」を正しく外部に発信し、進路選択におけるミスマッチの未然防止を図る。

4 中期的目標

- 1 豊かな人間性を培う。
- 2 基礎学力を定着させるとともに、学習意欲の向上を図る。
- 3 規範意識の高揚と基本的生活習慣の確立を図る。
- 4 魅力ある学校づくりを進めるとともに、部活動や特別活動の活性化を図り、自尊感情を高め、心身ともに健康な生徒を育成する。
- 5 望ましい勤労観・職業観の育成を図り、生徒一人一人の進路希望の実現を目指す。
- 6 5年一貫看護教育の円滑な展開を図り、地域医療の担い手となる看護職者の養成に努める。
- 7 本校の特色ある取組を積極的に発信し開かれた学校づくりを推進する。併せて、保護者や地域社会との信頼関係を構築する。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
(1) 豊かな人間性の育成	①「道徳」の授業や学校行事等の教育活動全体を通して、規範意識や豊かな人間性を養うとともに、他者や社会・自分とは異なる世界とどう関わるかを学ばせ、人間関係構築力やコミュニケーション力を培う。 ②「朝の読書」を継続して実施し、静かな時間を共有することにより豊かな情操と人間性を育む。 ③実習や地域との連携した教育活動を通して、医療人(看護師)としての高い倫理観と使命感を育てる。
(2) 学習意欲の向上	④授業時間を確保し、学習指導方法を工夫・改善し、分かる授業を実践する。生徒の主体的な活動を軸に展開された個々の教員の優れた授業実践を学校全体で共有するなどして、対話的で深い学びを実現する。 ⑤シラバスに掲げる授業目標の実現を目指し、実社会との関連を意図した教育を展開することにより、基礎学力を定着させ、学習への動機付けを高め、主体的な学びの姿勢を育む。 ⑥少人数授業・課外指導等を実施し、個に応じた発展的な学びを推進して学習意欲を高め、大学入試や国家試験に対応できる学力の向上を目指す。
(3) 基本的生活習慣の確立と生徒指導の充実	⑦全職員の共通理解・実践のもと、端正な身なり・明るい挨拶・時間厳守の習慣を身に付けさせる。特に、社会性育成の観点から「挨拶ができる生徒」の育成を目指す。
(4) キャリア教育の推進	⑧「進路の手引き」等を活用し、種々の教育活動や行事等と関連づけながら一人一人のキャリアプランニング能力を高める。 ⑨実社会の様相や課題解決方法などを踏まえた適切な情報を提供し、生徒のよりよい進路選択に資する。 ⑩進路指導部と学年との連携を強化し、課外・小論文・模擬面接指導等を通し個に応じた指導の充実を図り、進路希望の実現を目指す。
(5) 魅力ある学校づくりと部活動・特別活動の活性化	⑪生徒の主体的な取組を重視して、生徒会活動を一層充実させ、生徒会を中心とした魅力ある学校行事やホームルーム活動等を展開する。 ⑫主体的な特別活動の展開により、自己有用感を高揚させるとともに、社会性や人間関係構築力、協力する心や責任感を育む。 ⑬部活動への加入率を上げ、熱心に活動に励む部活動を積極的に評価することにより、自尊感情・活動意欲を高め、部活動全体の活性化を図る。
(6) 看護教育の充実・5年一貫看護師養成教育の充実	⑭5年一貫の利点を活かした教育活動を展開し、看護に関する知識・技術の習得を図る。教科指導・実習指導を通して、看護職への自覚を高めるとともに、看護師としての職業観・倫理観の育成に努める。 ⑮病院・施設等の関連機関との連携を深め、効果的な実習指導の展開を図る。併せて地域医療の担い手となる人材の確保に資するキャリア教育を展開する。 ⑯看護師国家試験 100%合格の目標を実現するために、受験対策にかかる標準的な指導スタイルを確立するとともに看護科全体で共有化する。衛生看護科・専攻科の発達段階を踏まえた、指導体制を構築する。 ⑰本校の看護教育を正しく理解頂くための情報提供を積極的に行う。入学後は個に応じた支援を行い、看護職への動機付けを一層高めていく。

(7)開かれた学校づくりと外部への情報発信の推進	⑱地域社会と連携した教育活動を積極的に展開することにより，保護者・地域社会，近隣の小中学校，看護教育機関等との信頼関係を構築し，開かれた学校づくりを推進する。 ⑲本校の特色ある教育活動を積極的に報道機関に情報提供するとともに，ホームページ等で地域社会に発信し，本校の認知度を一層高めていく。
---------------------------------	---